

(別 紙)

食品表示基準について（新旧対照表）

改正後（新）							改正前（旧）						
食品表示基準について（平成27年3月30日消食表第139号）							食品表示基準について（平成27年3月30日消食表第139号）						
（総則関係）～（附則）（略）							（総則関係）～（附則）（略）						
別添 添加物 1－1～添加物 1－6（略）							別添 添加物 1－1～添加物 1－6（略）						
別添 添加物 2－1							別添 添加物 2－1						
既存添加物名簿収載品目リスト							既存添加物名簿収載品目リスト						
番号	品 名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用 途	備 考	番号	品 名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用 途	備 考
	名 称	別 名						名 称	別 名				
1	(略)						1	(略)					
2	アガラーゼ			※	酵素	Agarase	2	アガラーゼ			担子菌(Coliolus)又は細菌(Bacillus,Pseudomonas)の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Agarase
3	アクチニジン			※	酵素	Actinidin	3	アクチニジン			マタタビ科キウイ(Actinidia chinensis PLANCH)の果肉より、搾汁して得られたもの、又はこれを、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、若しくは膜で濃縮して得られたものである。	酵素	Actinidine
4	(略)						4	(略)					
5	アシラーゼ			※	酵素	Acylyase	5	アシラーゼ			糸状菌(Aspergillus ochraceus, Aspergillus melleus)の培養液より、水で抽出して得られたもの、冷時～室温時除菌したもの、又はこれより、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Acylyase
6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ビタミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	※	酵素	Ascorbate Oxidase	6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ビタミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	ウリ、カボチャ、キャベツ、キュウリ若しくはホウレンソウより、搾汁して得られたもの、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌(Trichoderma lignorum)若しくは放線菌(Eupenicillium brefeldianum)の培養液より、除菌後、濃縮して得られたものである。	酵素	Ascorbate oxidase
7	L-アスパラギン		アスパラギン	※	調味料 強化剤	L-Asparagine	7	L-アスパラギン		アスパラギン	植物性タンパク質を、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-アスパラギンである。	調味料 強化剤	L-Asparagine
8	L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	※	調味料	L-Aspartic Acid	8	L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	発酵又は酵素法により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-アスパラギン酸である。	調味料	L-Aspartic acid
9	(略)						9	(略)					
10	α-アセトラクタートデカルボキシラーゼ	(削除)	リアーゼ	※	酵素	α-Acetolactate Decarboxylase	10	α-アセトラクタートデカルボキシラーゼ	α-アセトラクタートデカルボキシラーゼ	リアーゼ	細菌(Bacillus subtilis, Serratia)の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	α-Acetolactate decarboxylase
11	5'-アデニル酸	アデノシン5'-リン酸	5'-AMP	※	強化剤	5'-Adenylic Acid	11	5'-アデニル酸	アデノシン5'-リン酸	5'-AMP	酵母(Candida utilis)の菌体より、水で抽出した核酸を酵素で加水分解した後、分離して得られたものである。成分は5'-アデニル酸である。	強化剤	5'-Adenylic acid

12	アナトー色素 (ベニノキの種子の被覆物から得られた、ノルピキシン及びビピキシンを主成分とするものをいう。)		アナトー カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	※	着色料	<u>Annatto Extract</u>	12	アナトー色素 (ベニノキの種子の被覆物から得られた、ノルピキシン及びビピキシンを主成分とするものをいう。)		アナトー カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	ベニノキ科ベニノキ (<i>Bixa orellana</i> LINE) の種子の被覆物より、熱時油脂若しくはプロピレングリコールで抽出して得られたもの、室温時へキサン若しくはアセトンで抽出し、溶媒を除去して得られたもの、又は熱時アルカリ性水溶液で抽出し、加水分解し、中和して得られたものである。主色素はビピキシン及びノルピキシンである。黄色～橙色を呈する。	着色料	<u>Annatto extract</u>
13	(略)						13	(略)					
14	アミノペプチダーゼ			※	酵素	Aminopeptidase	14	アミノペプチダーゼ			細菌 (<i>Aeromonas caviae</i> , <i>Lactobacillus casei</i> , <i>Lactococcus lactis</i>) の培養液より、分離して得られたものである。	酵素	Aminopeptidase
15	α-アミラーゼ	液化アミラーゼ G3分解酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	※	酵素	α-Amylase	15	α-アミラーゼ	液化アミラーゼ G3分解酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 (<i>Aspergillus aureus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i>)、細菌 (<i>Alcaligenes latus</i> , <i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus amyloliquefaciens</i> , <i>Bacillus licheniformis</i> , <i>Bacillus stearothermophilus</i> , <i>Bacillus subtilis</i> , <i>Sulfolobus solfataricus</i>) 若しくは放線菌 (<i>Thermomonospora viridis</i>) の培養液より、又は麦芽より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの若しくは濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硝酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	α-Amylase
16	β-アミラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	※	酵素	β-Amylase	16	β-アミラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 (<i>Aspergillus oryzae</i>)、放線菌 (<i>Streptomyces</i>) 若しくは細菌 (<i>Bacillus amyloliquefaciens</i> , <i>Bacillus polymyxa</i> , <i>Bacillus subtilis</i>) の培養液より、又は麦芽若しくは穀類の種子より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの若しくは濃縮して得られたもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	β-Amylase
17	L-アラニン		アラニン	※	調味料 強化剤	L-Alanine	17	L-アラニン		アラニン	タンパク質原料の加水分解又は発酵若しくは酵素法により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-アラニンである。	調味料 強化剤	L-Alanine
18	アラビアガム (アカシアの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アカシアガム	アカシア	※	増粘安定剤	<u>Gum Arabic</u> <u>Arabic Gum</u> <u>Acacia Gum</u>	18	アラビアガム (アカシアの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アカシアガム	アカシア	アカシア属植物 (<i>Acacia senegal</i> Willdenow 又は <i>Acacia seyal</i> Delile) の分泌液を、乾燥して得られた、又はこれを脱塩して得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	<u>Gum Arabic</u> <u>Arabic gum</u> <u>Acacia gum</u>
19	(略)						19	(略)					
20	L-アラビノース		アラビノース	※	甘味料	L-Arabinose	20	L-アラビノース		アラビノース	アラビアガム、ガディガム、コーンファイバー又はデンサイのバルブ (シュガービートバルブ) の多糖類 (アラビナン等) を、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-アラビノースである。	甘味料	L-Arabinose
21	L-アルギニン		アルギニン	※	調味料 強化剤	L-Arginine	21	L-アルギニン		アルギニン	タンパク質原料の加水分解により又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-アルギニンである。	調味料 強化剤	L-Arginine
22	アルギン酸	昆布類粘質物		※	増粘安定剤	<u>Alginate Acid</u>	22	アルギン酸	昆布類粘質物		褐藻類 (<i>Phaeophyceae</i>) より、温時～熱時水又はアルカリ性水溶液で抽出し、精製して得られたものである。成分はアルギン酸である。	増粘安定剤	<u>Alginate acid</u>
23	アルギン酸リアーゼ			※	酵素	<u>Alginate Lyase</u>	23	アルギン酸リアーゼ			細菌 (<i>Alteromonas macleodii</i> , <i>Flavobacterium maltivolum</i> , <i>Pseudomonas</i> , <i>Xanthomonas</i>) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	<u>Alginate lyase</u>
24	(略)						24	(略)					
25	アントシアナーゼ			※	酵素	Anthocyanase	25	アントシアナーゼ			糸状菌 (<i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Penicillium decumbens</i>) の培養液より、又は麦芽若しくは穀類の種子より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの又はこれを冷時エタノール又は含水エ	酵素	Anthocyanase

26	イソアミラーゼ	枝切り酵素		※	酵素	Isoamylase			タノールで処理して得られたものである。	酵素	Isoamylase
27	(略)										
28	(略)										
29	(略)										
30	(略)										
31	イヌリナーゼ	イヌラーゼ		※	酵素	Inulinase			糸状菌 (<i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus phoenicis</i> , <i>Penicillium purpurogenum</i> , <i>Trichoderma</i>) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Inulinase
32	(略)										
33	インベルターゼ	サッカラーゼ シュークラーゼ スクラーゼ		※	酵素	Invertase			糸状菌 (<i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus niger</i>)、細菌 (<i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus</i>) 又は酵母 (<i>Kluyveromyces lactis</i> , <i>Saccharomyces cerevisiae</i>) の培養液より、冷時～室温時菌体を回収して得られたもの、冷時～室温時水若しくはアルカリ性水溶液で抽出して得られたもの、冷時～室温時濃縮して得られたもの、又はアセトン若しくはアルコールで処理し、イオン交換処理後、アセトン若しくはアルコールで処理及び透析除去したものである。	酵素	Invertase
34	ウェランガム (アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	ウェラン多糖類		※	増粘安定剤	Welan Gum			グラム陰性細菌 (<i>Alcaligenes</i>) の培養液より、分離して得られた多糖類である。	増粘安定剤	Welan gum
35	ウコン色素 (ウコンの根茎から得られた、クルクミンを主成分とするものをいう。)	クルクミン ターメリック色素	ウコン	※	着色料	Turmeric Oleo-resin Curcumin			ウコン (<i>Curcuma longa</i> Linne) の根茎から得られた、クルクミンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Turmeric oleoresin Curcumin
36	(略)										
37	ウレアーゼ		アミダーゼ	※	酵素	Urease			乳酸菌 (<i>Lactobacillus fermentum</i>) 又は細菌 (<i>Arthrobacter</i>) の培養液を、室温時水で抽出し、冷時エタノールで処理して得られたもの、又は濃縮し、微温時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Urease
38	エキソマルトテトラオヒドロラーゼ	G4生成酵素	アミラーゼ カルボヒドロラーゼ	※	酵素	Exomaltotetraohydrolase			細菌 (<i>Pseudomonas stutzeri</i>) の培養液より、室温時除菌し、膜で濃縮して得られたもの、又はこれをエタノールで処理して得られたものである。	酵素	Exomaltotetraohydrolase
39	エステラーゼ			※	酵素	Esterase			動物の肝臓、魚類、糸状菌 (<i>Aspergillus</i>)、細菌 (<i>Pseudomonas</i>) 若しくは酵母 (<i>Candida</i> , <i>Torulopsis</i>) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの若しくは濃縮したもの、又は冷時～室温時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Esterase
40	(略)										
41	(略)										
42	(略)										
43	(略)										
44	(略)										
45	γ-オリザノール (米ぬか又は胚芽)		オリザノール	※	酸化防止剤	γ-Oryzanol			イネ科イネ (<i>Oryza sativa</i> LINN) の種子より得られる米ぬか又は胚芽油より、室温時含水エタノール	酸化防止剤	γ-Oryzanol

	油から得られた、ステロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコールとフェルラ酸のエステルを主成分とするものをいう。）						油から得られた、ステロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコールとフェルラ酸のエステルを主成分とするものをいう。）				及びγ-ヘキサン又はアセトンで分配した後、含水エタノール画分から得られたものである。主成分はステロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコールとフェルラ酸のエステルである。		
46	(略)						46	(略)					
47	(略)						47	(略)					
48	(略)						48	(略)					
49	カオリン	白陶土	不溶性鉱物性物質	※	製造用剤	Kaolin	49	カオリン	白陶土	不溶性鉱物性物質	天然の含水ケイ酸アルミニウムを精製したものである。	製造用剤	Kaolin
50	カカオ色素 (カカオの種子から得られた、アントシアニンの重合物を主成分とするものをいう。)	ココア色素	カカオ フラボノイド フラボノイド色素	※	着色料	Cacao Color	50	カカオ色素 (カカオの種子から得られた、アントシアニンの重合物を主成分とするものをいう。)	ココア色素	カカオ フラボノイド フラボノイド色素	アオギリ科カカオ (Theobroma cacao LINE) の種子 (カカオ豆) を発酵後、焙煎したものより、温時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はアントシアニンが熱により重合したものである。褐色を呈する。	着色料	Cacao colour
51	(略)						51	(略)					
52	(略)						52	(略)					
53	(略)						53	(略)					
54	カタラーゼ		オキシダーゼ	※	酵素	Catalase	54	カタラーゼ		オキシダーゼ	ブタの肝臓より、水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus awamori, Aspergillus foetidus, Aspergillus niger, Aspergillus phoenicis, Penicillium amagasakiense) 細菌 (Micrococcus lyzodeikticus) 若しくは酵母 (Saccharomyces) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、温時溶菌後、除菌し、冷時～室温水濃縮して得られたもの、又はこれを冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Catalase
55	活性炭 (含炭素物質を炭化し、賦活化して得られたものをいう。)			※	製造用剤	Active Carbon	55	活性炭 (含炭素物質を炭化し、賦活化して得られたものをいう。)			綿屑、木片、ヤシ殻の植物性繊維質、亜炭又は石油等の含炭素物質を炭化後、賦活化を行って得られたものである。	製造用剤	Active carbon
56	活性白土		不溶性鉱物性物質	※	製造用剤	Activated Acid Clay	56	活性白土		不溶性鉱物性物質	酸性白土を硫酸処理して得られたものである。主成分は含水ケイ酸アルミニウムである。	製造用剤	Activated acid clay
57	ガティガム (ガティノキの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		ガティ	※	増粘安定剤	Gum Ghatti	57	ガティガム (ガティノキの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		ガティ	ガティノキ (Anogeissus latifolia Wallich) の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Gum ghatti
58	(略)						58	(略)					
59	カードラン (アグロバクテリウム又はアルカリゲネスの培養液から得られた、β-1,3-グルカンを主成分とするものをいう。)		ブドウ糖多糖	※	増粘安定剤 製造用剤	Curdlan	59	カードラン (アグロバクテリウム又はアルカリゲネスの培養液から得られた、β-1,3-グルカンを主成分とするものをいう。)		ブドウ糖多糖	アグロバクテリウム属菌 (Agrobacterium biovar 1) 又はリゾビウム属菌 (Rhizobium radiobacter) の培養液から得られた、β-1,3-グルカンを主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Curdlan
60	カフェイン (抽出物) (コーヒーの種子又はチャの葉から得られた、カフェ		カフェイン	※	苦味料等	Caffeine (Extract)	60	カフェイン (抽出物) (コーヒーの種子又はチャの葉から得られた、カフェ		カフェイン	アカネ科コーヒー (Coffea arabica LINE) の種子 (コーヒー豆) 又はツバキ科チャ (Camellia sinensis O.KZE.) の葉より、水又は二酸化炭素で抽出し、分離、精製して得られたものである。主成分はカフェインである。	苦味料等	Caffeine (extract)

	インを主成分とするものをいう。)													
61	カラギナン (イバラノリ、キリンサイ、ギンナンソウ、スギノリ又はツノマタの全藻から得られた、 ι -カラギナン、 κ -カラギナン及び λ -カラギナンを主成分とするものをいう。)	カラギーナン カラゲナン カラゲーナン カラゲニン			増粘安定剤	Carrageenan							増粘安定剤	Carrageenan
	加工ユーケマ藻類		ユーケマ	※		Semirefined Carrageenan Processed Eucheuma Algae Processed Red Algae			ユーケマ		カラギナン (イバラノリ属 (Hypnea)、キリンサイ属 (Eucheuma)、ギンナンソウ属 (Iridaea)、スギノリ属 (Gigartina) 又はツノマタ属 (Chondrus) の藻類の全藻から得られた、 ι -カラギナン、 κ -カラギナン及び λ -カラギナンを主成分とするものをいう。)			Semirefined carrageenan Processed eucheuma algae Processed red algae
	精製カラギナン		紅藻抽出物	※		Purified Carrageenan Refined Carrageenan			紅藻抽出物		カラギナン (イバラノリ属 (Hypnea)、キリンサイ属 (Eucheuma)、ギンナンソウ属 (Iridaea)、スギノリ属 (Gigartina) 又はツノマタ属 (Chondrus) の全藻から得られた、 ι -カラギナン、 κ -カラギナン及び λ -カラギナンを主成分とするものをいう。)			Purified carrageenan Refined carrageenan
	ユーケマ藻末		ユーケマ			Powdered red algae			ユーケマ		ミリン科キリンサイ属 (Eucheuma) の全藻を、乾燥、粉碎して得られたものである。			Powdered red algae
62	α -ガラクトシダーゼ	メリビアーゼ	カルボヒドラーゼ	※	酵素	α -Galactosidase			カルボヒドラーゼ		糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus awamori, Aspergillus niger, Aspergillus phoenicis, Mortierella) 又は細菌 (Bacillus stearothermophilus) の培養液より、室温時~微温時水、酸性水溶液若しくはアルカリ性水溶液で抽出して得られたもの、冷時含水エタノールで処理したもの、又は除菌後、濃縮して得られたものである。	酵素		α -Galactosidase
63	β -ガラクトシダーゼ	ラクターゼ	カルボヒドラーゼ	※	酵素	β -Galactosidase			カルボヒドラーゼ		動物の臓器より、冷時~微温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 (Aspergillus oryzae, Penicillium multicolor, Rhizopus oryzae)、細菌 (Bacillus circulans, Streptococcus) 若しくは酵母 (Kluyveromyces fragillus, Kluyveromyces lactis, Saccharomyces) の培養液より、冷時~室温時水で抽出して得られたもの、室温時自己消化処理して得られたもの、冷時~室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素		β -Galactosidase (Lactase)
64	カラシ抽出物 (カラシナの種子から得られた、イソチオシアン酸アシルを主成分とするものをいう。)	(削除)	マスタード抽出物	※	製造用剤	Mustard Extract			マスタード抽出物		アブラナ科カラシナ (Brassica juncea LINNE) の種子の脂肪油を除いた搾粕より、水蒸気蒸留により得られたものである。主成分はイソチオシアン酸アシルである。	製造用剤		Mustard extract
65	カラメル I (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物を熱処理して得られ	カラメル	カラメル色素	※	着色料 製造用剤	Caramel I (Plain caramel)			カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物を熱処理して得られ	着色料 製造用剤		Caramel I (plain)

	たものをいう。ただし、「カラメルII」、「カラメルIII」及び「カラメルIV」を除く。													
66	カラメルII (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物を加えて熟処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルIV」を除く。)	カラメル	カラメル色素	※	着色料 製造用剤	Caramel II (Sulfite caramel)	66	カラメルII (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物を加えて熟処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルIV」を除く。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、亜硫酸化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアルカリを加えて熟処理して得られたもので、アンモニウム化合物を使用していないものである。	着色料 製造用剤	Caramel II (caustic sulfite process)	
67	カラメルIII (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物にアンモニウム化合物を加えて熟処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルIV」を除く。)	カラメル	カラメル色素	※	着色料 製造用剤	Caramel III (Ammonia caramel)	67	カラメルIII (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物にアンモニウム化合物を加えて熟処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルIV」を除く。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、アンモニウム化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアルカリを加えて熟処理して得られたもので、亜硫酸化合物を使用していないものである。	着色料 製造用剤	Caramel III (ammonia process)	
68	カラメルIV (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を加えて熟処理して得られたものをいう。)	カラメル	カラメル色素	※	着色料 製造用剤	Caramel IV (Sulfite ammonia caramel)	68	カラメルIV (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を加えて熟処理して得られたものをいう。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアルカリを加えて熟処理して得られたものである。	着色料 製造用剤	Caramel IV (sulfite ammonia process)	
69	カラヤガム (カラヤ又はキバナワタモドキの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		カラヤ	※	増粘安定剤	Karaya Gum	69	カラヤガム (カラヤ又はキバナワタモドキの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		カラヤ	カラヤ (Sterculia urens Roxburgh) 又はキバナワタモドキ (Cochlospermum gossypium de Candolle) の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Karaya gum	
70	カルナウバロウ (ブラジルロウヤシの葉から得られた、ヒドロキシセロチン酸セリルを主成分とするものをいう。)	カルナウバワックス ブラジルワックス	植物ワックス	※	ガムベース 光沢剤	Carnauba Wax Brazil Wax	70	カルナウバロウ (ブラジルロウヤシの葉から得られた、ヒドロキシセロチン酸セリルを主成分とするものをいう。)	カルナウバワックス ブラジルワックス	植物ワックス	ブラジルロウヤシ (Copernicia prunifera H.E. Moore (Copernicia cerifera Martius)) の葉から得られた、ヒドロキシセロチン酸セリルを主成分とするものである。	ガムベース 光沢剤	Carnauba wax Brazil wax	
71	カルボキシペプチダーゼ			※	酵素	Carboxypeptidase	71	カルボキシペプチダーゼ			イネ科コムギ (Triticum aestivum LINNE) の種皮及び果皮 (ふすま) より、酢酸水溶液で抽出したもの、又は糸状菌 (Aspergillus) 若しくは酵母 (Saccharomyces cerevisiae) の培養液より、冷時~室温時水で抽出して得られたもの若しくは冷時~室温時濃縮し、冷エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Carboxypeptidase	
72	カロブ色素 (イナゴマメの種子の胚芽を粉碎し	(削除)	カロブ カロブジャーム フラボノイド	※	着色料 製造用剤	Carob Germ Color	72	カロブ色素 (イナゴマメの種子の胚芽を粉碎し	カロブジャーム	カロブ フラボノイド フラボノイド色素	マメ科イナゴマメ (Ceratonia siliqua LINNE) の種子の胚芽を、粉碎して得られたものである。淡黄色を呈する。	着色料 製造用剤	Carob germ colour	

	て得られたものをいう。)		フラボノイド色素												
73	カروبビーンガム (イナゴマメの種子の胚乳を粉碎し、又は溶解し、沈殿して得られたものをいう。)	ローカストビーンガム	ローカスト	※		増粘安定剤	<u>Carob Bean Gum</u> <u>Locust Bean Gum</u>		73	カروبビーンガム (イナゴマメの種子の胚乳を粉碎し、又は溶解し、沈殿して得られたものをいう。)	ローカストビーンガム	ローカスト	<u>イナゴマメ (Ceratoniasiliqua Linne) の種子の胚乳を粉碎し、又は溶解し、沈殿して得られたものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。</u>	増粘安定剤	<u>Carob bean gum</u> <u>Locust bean gum</u>
74	(略)								74	(略)					
75	カンゾウ抽出物 (ウラルカンゾウ、チョウカカンゾウ又はヨウカンゾウの根又は根茎から得られた、グリチルリチン酸を主成分とするものをいう。)	カンゾウエキス グリチルリチン リコリス抽出物	カンゾウ カンゾウ甘味料 リコリス	※		甘味料	<u>Licorice Extract</u>		75	カンゾウ抽出物 (ウラルカンゾウ、チョウカカンゾウ又はヨウカンゾウの根又は根茎から得られた、グリチルリチン酸を主成分とするものをいう。)	カンゾウエキス グリチルリチン リコリス抽出物	カンゾウ カンゾウ甘味料 リコリス	<u>ウラルカンゾウ (Glycyrrhiza uralensis Fischer)、チョウカカンゾウ (Glycyrrhiza inflata Batalin)、ヨウカンゾウ (Glycyrrhiza glabra Linne)、又はそれらの近縁植物の根若しくは根茎から得られた、グリチルリチン酸を主成分とするものである。本品には、粗製物と精製物がある。</u>	甘味料	<u>Licorice extract</u>
76	(略)								76	(略)					
77	カンデリラロウ (カンデリラの茎から得られた、ヘントリアコンタンを主成分とするものをいう。)	カンデリラワックス キャンデリラロウ キャンデリラワックス	植物ワックス	※		ガムベース 光沢剤	<u>Candelilla Wax</u>		77	カンデリラロウ (カンデリラの茎から得られた、ヘントリアコンタンを主成分とするものをいう。)	カンデリラワックス キャンデリラロウ キャンデリラワックス	植物ワックス	<u>カンデリラ (Euphorbia antisyphilitica Zuccarini) 又は Euphorbia cerifera Alcooc) の茎から得られた、ヘントリアコンタンを主成分とするものである。</u>	ガムベース 光沢剤	<u>Candelilla wax</u>
78	キサタンガム (キサントモナスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	キサタン多糖類 ザンサンガム	キサタン	※		増粘安定剤	<u>Xanthan Gum</u>		78	キサタンガム (キサントモナスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	キサタン多糖類 ザンサンガム	キサタン	<u>キサントモナス属菌 (Xanthomonas campestris) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。</u>	増粘安定剤	<u>Xanthan gum</u>
79	キシラナーゼ			※		酵素	Xylanase		79	キシラナーゼ			<u>糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Trichoderma koningii, Trichoderma longibrachiatum reesei, Trichoderma viride) の培養液より、分離して得られたものである。</u>	酵素	Xylanase
80	D-キシロース		キシロース	※		甘味料	D-Xylose		80	D-キシロース		キシロース	<u>木材又はアオイ科ワタ (Gossypium arboreum LINNE)、イネ科イネ (Oryza sativa LINNE)、イネ科サトウキビ (Saccharum officinarum LINNE) 若しくはイネ科トウモロコシ (Zea Mays LINNE) 又はその他同属植物の茎、実又は穀より、熱時稀性水溶液で加水分解し、分離して得られたものである。成分: D-キシロースである。</u>	甘味料	D-Xylose
81	キチナーゼ			※		酵素	Chitinase		81	キチナーゼ			<u>糸状菌 (Trichoderma harzianum, Trichoderma reesei)、放線菌 (Amycolatopsis orientalis, Streptomyces) 又は細菌 (Aeromonas) の培養液より、冷時～室温時除菌後、濃縮し、硫酸アンモニウムで分画したもの、若しくはエタノールで処理したのから得られたものである。</u>	酵素	Chitinase
82	(略)								82	(略)					
83	キトサナーゼ			※		酵素	Chitosanase		83	キトサナーゼ			<u>細菌 (Aeromonas, Bacillus) 又は糸状菌 (Aspergillus niger, Trichoderma reesei, Trichoderma viride, Verticillium) の培養液より、除菌後、冷時～室温時濃縮したもの又はエタノール若しくはアセトンで処理して得られたものである。</u>	酵素	Chitosanase
84	(略)								84	(略)					
85	(略)								85	(略)					
86	(略)								86	(略)					

87	(略)							87	(略)						
88	キライヤ抽出物 (キライヤの樹皮から得られた、サポニンを主成分とするものをいう。)	キライヤサポニン	サポニン	※		乳化剤	<u>Quillaia Extract</u> <u>Quillaia Extract</u>	88	キライヤ抽出物 (キライヤの樹皮から得られた、サポニンを主成分とするものをいう。)	キライヤサポニン	サポニン	<u>キライヤ (Quillaja saponaria Molina) の樹皮から得られた、サポニンを主成分とするものである。</u>	乳化剤	<u>Quillaia extract</u> <u>Quillaia extract</u>	
89	(略)							89	(略)						
90	(略)							90	(略)						
91	グァーガム (グァーの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。ただし、「グァーガム酵素分解物」を除く。)	グァーフラワー グァーガム	グァー	※		増粘安定剤	<u>Guar Gum</u>	91	グァーガム (グァーの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。ただし、「グァーガム酵素分解物」を除く。)	グァーフラワー グァーガム	グァー	<u>グァー (Cyamopsis tetragonolobus Taubert) の種子から得られた、多糖類を主成分とするものである。シヨ糖、ブドウ糖、乳糖又はデキストリンを含むことがある。</u>	増粘安定剤	<u>Guar gum</u>	
92	(略)							92	(略)						
93	(略)							93	(略)						
94	(略)							94	(略)						
95	(略)							95	(略)						
96	クチナン青色素 (クチナシの果実から得られたイリドイド配糖体とタンパク質分解物の混合物にβ-グルコシダーゼを添加して得られたものをいう。)		クチナン クチナン色素	※		着色料	<u>Gardenia Blue</u>	96	クチナン青色素 (クチナシの果実から得られたイリドイド配糖体とタンパク質分解物の混合物にβ-グルコシダーゼを添加して得られたものをいう。)		クチナン クチナン色素	<u>クチナン (Gardenia augusta Merrill又はGardenia jasminoides Ellis) の果実から得られたイリドイド配糖体とタンパク質分解物の混合物に、β-グルコシダーゼを添加して得られたものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。</u>	着色料	<u>Gardenia blue</u>	
97	クチナン赤色素 (クチナシの果実から得られたイリドイド配糖体のエステル加水分解物とタンパク質分解物の混合物にβ-グルコシダーゼを添加して得られたものをいう。)		クチナン クチナン色素	※		着色料	<u>Gardenia Red</u>	97	クチナン赤色素 (クチナシの果実から得られたイリドイド配糖体のエステル加水分解物とタンパク質分解物の混合物にβ-グルコシダーゼを添加して得られたものをいう。)		クチナン クチナン色素	<u>クチナン (Gardenia augusta Merrill又はGardenia jasminoides Ellis) の果実から得られたイリドイド配糖体のエステル加水分解物とタンパク質分解物の混合物に、β-グルコシダーゼを添加して得られたものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。</u>	着色料	<u>Gardenia red</u>	
98	クチナン黄色素 (クチナシの果実から得られた、クロシン及びクロセチンを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド カロチノイド色素 クチナン クチナン色素 クロシン	※		着色料	<u>Gardenia Yellow</u>	98	クチナン黄色素 (クチナシの果実から得られた、クロシン及びクロセチンを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド カロチノイド色素 クチナン クチナン色素 クロシン	<u>クチナン (Gardenia augusta Merrill又はGardenia jasminoides Ellis) の果実から得られた、クロシン及びクロセチンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。</u>	着色料	<u>Gardenia yellow</u>	
99	(略)							99	(略)						
100	(略)							100	(略)						
101	(略)							101	(略)						
102	グルカナナーゼ		カルボヒドラーゼ ヘミセルラーゼ	※		酵素	Glucanase	102	グルカナナーゼ		カルボヒドラーゼ ヘミセルラーゼ	<u>糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Humicola insolens, Rhizopus delemar, Trichoderma harzianum, Trichoderma longibrachiatum, Trichoderma viride)、担子菌 (Pycnoporus coccineus)、細菌 (Arthrobacter, Bacillus subtilis, Pseudomonas paucimobilis) 若しくは酵母 (Saccharomyces) の培養液より、冷時～微温時水若しくは酸酵性水溶液で抽出して得られ</u>	酵素	Glucanase	

										たもの、除菌後、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は除菌後、硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。			
103	グルコアミラーゼ	糖化アミラーゼ	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	※	酵素	Glucoamylase		グルコアミラーゼ	糖化アミラーゼ	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 (Acremonium, Aspergillus, Humicola grisea, Rhizopus delemar, Rhizopus niveus)、担子菌 (Corticium rolfssii)、細菌 (Bacillus, Pseudomonas) 又は酵母 (Saccharomyces) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、冷時～室温時除菌後、濃縮したもの、冷時～室温時濃縮後、エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Glucoamylase
104	(略)							104	(略)				
105	α-グルコシダーゼ	マルターゼ		※	酵素	α-Glucosidase		α-グルコシダーゼ	マルターゼ		糸状菌 (Absidia, Acremonium, Aspergillus)、細菌 (Bacillus, Pseudomonas) 若しくは酵母 (Saccharomyces) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	α-Glucosidase
106	β-グルコシダーゼ	ゲンチオビアーゼ セロビアーゼ		※	酵素	β-Glucosidase		β-グルコシダーゼ	ゲンチオビアーゼ セロビアーゼ		ソテツ科ソテツ (Cycas revoluta THUNB.) より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Aspergillus pulverulentus, Penicillium decumbens, Trichoderma harzianum, Trichoderma longibrachiatum, Trichoderma reesei) 若しくは細菌 (Bacillus) の培養液より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、冷時～室温時濃縮したもの、又は冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	β-Glucosidase
107	α-グルコシルトランスフェラーゼ	4-α-グルカノトランスフェラーゼ 6-α-グルカノトランスフェラーゼ		※	酵素	α-Glucosyltransferase 4-α-Glucanotransferase 6-α-Glucanotransferase		α-グルコシルトランスフェラーゼ	4-α-グルカノトランスフェラーゼ 6-α-グルカノトランスフェラーゼ		細菌 (Agrobacterium radiobacter, Arthrobacter, Bacillus, Erwinia, Pimelobacter, Protaminobacter, Pseudomonas, Serratia, Thermus) の培養液又はバレイショ (Solanium tuberosum LINE) の塊茎より、冷時～室温時除菌したもの、冷時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮して得られたものである。なお、基質特異性により、4-α-グルカノトランスフェラーゼ、6-α-グルカノトランスフェラーゼと呼ばれるものがある。	酵素	α-Glucosyltransferase 4-α-Glucanotransferase 6-α-Glucanotransferase
108	α-グルコシルトランスフェラーゼ 処理ステビア (「ステビア抽出物」から得られた、α-グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)	酵素処理ステビア	ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	※	甘味料	α-Glucosyltransferase Treated Stevia		α-グルコシルトランスフェラーゼ 処理ステビア (「ステビア抽出物」から得られた、α-グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)	酵素処理ステビア	ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	『ステビア抽出物』に、α-グルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。α-グルコシルステビオシドを主成分とする。	甘味料	α-Glucosyltransferase-treated stevia
109	グルコースイソメラーゼ			※	酵素	Glucose Isomerase		グルコースイソメラーゼ			糸状菌 (Aspergillus)、放線菌 (Actinoplanes missouriensis, Streptomyces griseofuscus, Streptomyces marinus, Streptomyces phaeochromogenes, Streptomyces rubiginosus) 又は細菌 (Bacillus coagulans) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Glucose isomerase
110	グルコースオキシダーゼ			※	酵素	Glucose Oxidase		グルコースオキシダーゼ			糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Penicillium) の培養液より、冷時～室温時水	酵素	Glucose oxidase

	物」を酵素分解して得られた、グリチルレチン酸-3-グルクロニドを主成分とするものをいう。）					Licorice Extract				ドである。		licorice extract
129	(略)											
130	酵素分解レシチン（「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」から得られた、フォスファチジン酸及びリゾレシチンを主成分とするものをいう。）		レシチン	※		乳化剤	Enzymatically Decomposed Lecithin		レシチン	アブラナ (<i>Brassica rapa</i> Linné 又は <i>Brassica napus</i> Linné) 若しくはダイズ (<i>Glycine max</i> Merrill) の種子から得られた植物レシチン又は卵黄から得られた卵黄レシチンから得られた、ホスファチジン酸及びリゾレシチンを主成分とするものである。酵素分解植物レシチンと酵素分解卵黄レシチンがある。	乳化剤	Enzymatically decomposed lecithin
131	酵母細胞壁（サッカロミセスの細胞壁から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。）	(削除)	酵母細胞膜	※		増粘安定剤 製造用剤	Yeast Cell Wall			サッカロミセス属菌 (<i>Saccharomyces cerevisiae</i>) の細胞壁から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Yeast cell wall
132	コウリヤン色素（コウリヤンの種子から得られた、アピゲニニン及びルテオリニンを主成分とするものをいう。）	キビ色素	フラボノイド フラボノイド色素	※		着色料	Kaoliang Color		キビ色素	イネ科コウリヤン (<i>Sorghum nervosum</i> BESS.) の実及び穀より、温時～熱時水、含水エタノール若しくは酸性含水エタノールで抽出して得られたもの、又は室温時～温時アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はアピゲニニン及びルテオリニンである。赤褐色を呈する。	着色料	Kaoliang colour
133	コチニール色素（エンジムシから得られた、カルミン酸を主成分とするものをいう。）	カルミン酸色素	カルミン酸 コチニール	※		着色料	Cochineal Extract Carminic Acid		カルミン酸色素	エンジムシ (<i>Dactylopius coccus</i> Costa (<i>Coccus cacti</i> Linnaeus)) から得られた、カルミン酸を主成分とするものである。	着色料	Cochineal extract Carminic acid
134	骨炭（ウシの骨から得られた、炭末及びリン酸カルシウムを主成分とするものをいう。）			※		製造用剤	Bone Charcoal			ウシ (<i>Bos taurus</i> Linné) の骨を、炭化し、粉砕して得られたものである。主成分はリン酸カルシウム及び炭末である。	製造用剤	Bone charcoal
135	(略)											
136	(略)											
137	(略)											
138	(略)											
139	(略)											
140	コメヌカ油抽出物（米ぬか油から得られた、フェルラ酸を主成分とするものをいう。）	コメヌカ油不けん化物		※		酸化防止剤	Rice Bran Oil Extract		コメヌカ油不けん化物	イネ科イネ (<i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られる米ぬか油の不けん化物より、エタノールで抽出して得られたものである。有効成分はフェルラ酸である。	酸化防止剤	Rice bran oil extract
141	(略)											
142	(略)											
143	サイリウムシードガム（ブロードサイリウムの種皮から得られた、多糖類を主成分とするもの	サイリウムハスク	サイリウム	※		増粘安定剤	Psyllium Seed Gum		サイリウムハスク	ブロードサイリウム (<i>Plantago ovata</i> Forsskal) の種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Psyllium seed gum

をいう。)							
144 (略)							
145 (略)							
146 酸性白土		不溶性鉱物性物質	※	製造用剤	Acid Clay		
147 酸性ホスファターゼ	ホスホモノエステラーゼ		※	酵素	Acid Phosphatase		
148 (略)							
149 (略)							
150 シアノコバラミン	ビタミンB12	V. B12	※	強化剤	Cyanocobalamin (削除)		
151 シェラック	セラック		※	ガムベース 光沢剤	Shellac		
	白シェラック	(削除)	※		(削除)		
	精製シェラック	(削除)	※		(削除)		
152 (略)							
153 ジェランガム	ジェラン多糖類	ジェラン	※	増粘安定剤	Gellan Gum		
154 (略)							
155 (略)							
156 シクロデキストリン グルカノトランス フェラーゼ	(削除)	トランスフェラー ゼ	※	酵素	Cyclodextrin glucanotransfe rase		
157 L-シスチン		シスチン	※	調味料 強化剤	L-Cystine		
158 (略)							
159 (略)							
160 5'-シチジル酸		5'-CMP	※	強化剤	5'-Cytidylic		

をいう。)							
144 (略)							
145 (略)							
146 酸性白土		不溶性鉱物性物質	※	製造用剤	Acid clay		
147 酸性ホスファターゼ	ホスホモノエステラーゼ		※	酵素	Acid phosphatase		
148 (略)							
149 (略)							
150 シアノコバラミン	ビタミンB12	V. B12	※	強化剤	Cyanocobalamin (削除)		
151 シェラック	セラック		※	ガムベース 光沢剤	Shellac		
	白シェラック	白セラック 白ラック	※		(削除)	White shellac	
	精製シェラック	精製セラック	※		(削除)	Purified shellac	
152 (略)							
153 ジェランガム	ジェラン多糖類	ジェラン	※	増粘安定剤	Gellan gum		
154 (略)							
155 (略)							
156 シクロデキストリン グルカノトラン スフェラーゼ	(削除)	トランスフェラー ゼ	※	酵素	Cyclodextrin glucanotransfe rase		
157 L-シスチン		シスチン	※	調味料 強化剤	L-Cystine		
158 (略)							
159 (略)							
160 5'-シチジル酸		5'-CMP	※	強化剤	5'-Cytidylic		

					Acid						で抽出した核酸を酵素で加水分解した後、分離して得られたものである。成分はβ-シチジル酸である。	acid	
161	(略)						161	(略)					
162	(略)						162	(略)					
163	焼成カルシウム (うに殻、貝殻、造礁サンゴ、ホエイ、骨又は卵殻を焼成して得られた、カルシウム化合物を主成分とするものをいう。)		焼成Ca		強化剤 製造用剤	Calcinated calcium	163	焼成カルシウム (うに殻、貝殻、造礁サンゴ、ホエイ、骨又は卵殻を焼成して得られた、カルシウム化合物を主成分とするものをいう。)		焼成Ca		強化剤 製造用剤	Calcinated calcium
	うに殻焼成カルシウム		うに殻カルシウム うに殻Ca	うに殻を、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated sea urchin shell calcium		うに殻焼成カルシウム		うに殻カルシウム うに殻Ca	うに殻を、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated sea urchin shell calcium
	貝殻焼成カルシウム		貝カルシウム 貝Ca	※		Calcinated Shell Calcium		貝殻焼成カルシウム		貝カルシウム 貝Ca	貝殻を焼成して得られたものである。成分は酸化カルシウムである。		Calcinated shell calcium
	骨焼成カルシウム	<u>骨カルシウム</u>	骨Ca	※		Calcinated Bone Calcium		骨焼成カルシウム		<u>骨カルシウム</u> 骨Ca	獣骨又は魚骨を、焼成して得られたものである。成分はリン酸カルシウムである。		Calcinated bone calcium
	造礁サンゴ焼成カルシウム		コーラルカルシウム コーラル Ca サンゴカルシウム サンゴCa	イシサンゴ目の (Scleractinia) の造礁サンゴを、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated coral calcium		造礁サンゴ焼成カルシウム		コーラルカルシウム コーラル Ca サンゴカルシウム サンゴCa	イシサンゴ目の (Scleractinia) の造礁サンゴを、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated coral calcium
	乳清焼成カルシウム	乳清第三リン酸カルシウム ホエイ第三リン酸カルシウム ホエイリン酸カルシウム ホエイリン酸三カルシウム	乳清リン酸カルシウム 乳清リン酸Ca ホエイリン酸カルシウム ホエイリン酸Ca	乳清 (酸カゼインホエイ) より乳清タンパクと乳糖を分離、除去したものを、精製し焼成して得られたものである。主成分はリン酸三カルシウムである。		Tricalcium phosphate		乳清焼成カルシウム	乳清第三リン酸カルシウム ホエイ第三リン酸カルシウム ホエイリン酸カルシウム ホエイリン酸三カルシウム	乳清リン酸カルシウム 乳清リン酸Ca ホエイリン酸カルシウム ホエイリン酸Ca	乳清 (酸カゼインホエイ) より乳清タンパクと乳糖を分離、除去したものを、精製し焼成して得られたものである。主成分はリン酸三カルシウムである。		Tricalcium phosphate
	卵殻焼成カルシウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	※		Calcinated Eggshell Calcium		卵殻焼成カルシウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	卵殻を焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated eggshell calcium
164	植物性ステロール (油糧種子から得られた、フィトステロールを主成分とするものをいう。)	フィトステロール	ステロール	※	乳化剤	<u>Vegetable Sterol</u>	164	植物性ステロール (油糧種子から得られた、フィトステロールを主成分とするものをいう。)	フィトステロール	ステロール	油糧種子を粉砕し、抽出して得られた植物性油脂より、室温時～温時メタノール、エタノール、イソプロパノール、酢酸エチル、アセトン、又はヘキサンで抽出したものより得られたものである。主成分はフィトステロールである。	乳化剤	<u>Vegetable sterol</u>
165	(略)						165	(略)					
166	(略)						166	(略)					
167	しらこたん白抽出物 (魚類の精巢から得られた、塩基性タンパク質を主成分とするものをいう。)	しらこたん白 しらこ分解物 プロタミン	核たん白 しらこ	※	保存料	<u>Milt Protein</u>	167	しらこたん白抽出物 (魚類の精巢から得られた、塩基性タンパク質を主成分とするものをいう。)	しらこたん白 しらこ分解物 プロタミン	核たん白 しらこ	<u>アイナメ (Hexagrammos otakii Jordan et Starks) 、カラフトマス (Oncorhynchus gorbuscha (Walbaum)) 、シロザケ (Oncorhynchus keta (Walbaum)) 、ベニサケ (Oncorhynchus nerka (Walbaum)) 、カゾオ (Katsuwonus pelamis (Linnaeus)) 又はニシン (Clupea pallasii Valenciennes) の精巢から得られた、塩基性タンパク質を主成分とするものである。</u>	保存料	<u>Milt protein</u>
168	(略)						168	(略)					
169	ステビア抽出物 (ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビアエキス ステビオシド レバウジオシド	ステビア ステビア甘味料	※	甘味料	<u>Stevia Extract</u>	169	ステビア抽出物 (ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビアエキス <u>ステビオサイド</u> ステビオシド レバウジオシド <u>レバウディオサイド</u>	ステビア ステビア甘味料	<u>ステビア (Stevia rebaudiana Bertoni) の葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものである。</u>	甘味料	<u>Stevia extract</u>
170	(略)						170	(略)					

171	スピルリナ色素 (スピルリナの全葉から得られた、フィコシアニンを主成分とするものをいう。)	スピルリナ青色素	スピルリナ青	※	着色料	Spirulina Color	171	スピルリナ色素 (スピルリナの全葉から得られた、フィコシアニンを主成分とするものをいう。)	スピルリナ青色素	スピルリナ青	スピルリナ (Spirulina platensis Geitler) の全葉から得られた、フィコシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Spirulina colour
172	(略)						172	(略)					
173	(略)						173	(略)					
174	(略)						174	(略)					
175	(略)						175	(略)					
176	(略)						176	(略)					
177	(略)						177	(略)					
178	(略)						178	(略)					
179	(略)						179	(略)					
180	L-セリン		セリン	※	調味料 強化剤	L-Serine	180	L-セリン		セリン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-セリンである。	調味料 強化剤	L-Serine
181	セルラーゼ	繊維素分解酵素	カルボヒドラーゼ	※	酵素	Cellulase	181	セルラーゼ	繊維素分解酵素	カルボヒドラーゼ	糸状菌 (Acremonium cellulolyticus, Aspergillus aculeatus, Aspergillus awamori, Aspergillus niger, Humicola insolens, Trichoderma harzianum, Trichoderma insolens, Trichoderma koningii, Trichoderma longibrachiatum, Trichoderma reesei, Trichoderma viride)、担子菌 (Corticium, Irpex, Pycnoporus coccineus)、放線菌 (Actinomyces, Streptomyces) 若しくは細菌 (Bacillus circulans, Bacillus subtilis) の培養液より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Cellulase
182	(略)						182	(略)					
183	(略)						183	(略)					
184	(略)						184	(略)					
185	(略)						185	(略)					
186	(略)						186	(略)					
187	(略)						187	(略)					
188	タウマチン (タウマトコッカスダニエリの種子から得られた、タウマチンを主成分とするものをいう。)	ソーマチン		※	甘味料	Thaumatococcoside	188	タウマチン (タウマトコッカスダニエリの種子から得られた、タウマチンを主成分とするものをいう。)	ソーマチン		タウマトコッカス・ダニエリ (Thaumatococcus daniellii Benth) の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。	甘味料	Thaumatococcoside
189	タウリン (抽出物) (魚類又はほ乳類の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものをいう。)		タウリン	※	調味料	Taurine (Extract)	189	タウリン (抽出物) (魚類又はほ乳類の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものをいう。)		タウリン	魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。	調味料	Taurine (Extract)
190	タマネギ色素 (タマネギのりん茎から得られた、クエルセチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイド フラボノイド色素 野菜色素	※	着色料	Onion Color	190	タマネギ色素 (タマネギのりん茎から得られた、クエルセチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイド フラボノイド色素 野菜色素	ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時～熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時～熱時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はクエルセチンである。黄色を呈する。	着色料	Onion colour
191	タマリンド色素 (タマリンドの種子から得られた、タマリンド色素を主成分とするものをいう。)		フラボノイド フラボノイド色素	※	着色料	Tamarind Color	191	タマリンド色素 (タマリンドの種子から得られた、タマリンド色素を主成分とするものをいう。)		フラボノイド フラボノイド色素	マメ科タマリンド (Tamarindus indica LINNE) の種子を焙焼したものより、温時弱アルカリ性水溶液で抽出して得られたものである。	着色料	Tamarind colour

	子から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)																					抽出し、中和して得られたものである。主色素はフラボノイドである。赤褐色を呈する。				
192	タマリンドシードガム (タマリンドの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	タマリンドガム タマリンド種子多糖類	タマリンド	※		増粘安定剤	Tamarind Seed Gum																タマリンド (<i>Tamarindus indica</i> Linne) の種子から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Tamarind seed gum	
193	タラガム (タラの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)			※		増粘安定剤	Tara Gum																タラ (<i>Caesalpinia spinosa</i> Kuntze) の種子から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Tara gum	
194	タルク		不溶性鉱物性物質	※		ガムベース 製造用剤	Talc																天然の含水ケイ酸マグネシウムを精選したもので、ときに少量のケイ酸アルミニウムを含む。	ガムベース 製造用剤	Talc	
195	(略)																									
196	(略)																									
197	タンナーゼ			※		酵素	Tannase																糸状菌 (<i>Aspergillus oryzae</i>) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は濃縮後、冷時～室温時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Tannase	
198	タンニン (抽出物) (カキの果実、五倍子、タラ末、没食子又はミモザの樹皮から得られた、タンニン及びタンニン酸を主成分とするものをいう。)	タンニン酸 (抽出物)	タンニン タンニン酸			製造用剤	Tannin (extract)																			
	柿タンニン	柿渋 柿抽出物			カキ科カキ (<i>Diospyros kaki</i> THUNB.) の実より、搾汁したもの、又は水若しくはエタノールで抽出して得られたものである。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		Tannin of persimmon																	カキ科カキ (<i>Diospyros kaki</i> THUNB.) の実より、搾汁したもの、又は水若しくはエタノールで抽出して得られたものである。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		Tannin of persimmon
	植物タンニン			※			Vegetable Tannin																五倍子、タラ末又は没食子から得られた、タンニン及びタンニン酸を主成分とするものである。		Vegetable tannin	
	ミモザタンニン				マメ科ミモザ (<i>Acacia dealbata</i> LINNE) の樹皮より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		Tannin of silver wattle																マメ科ミモザ (<i>Acacia dealbata</i> LINNE) の樹皮より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		Tannin of silver wattle	
199	(略)																									
200	(略)																									
201	(略)																									
202	(略)																									
203	(略)																									
204	L-チロシン	(削除)	L-チロジン チロシン チロジン	※		調味料 強化剤	L-Tyrosine																動物性若しくは植物性タンパク質の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-チロジンである。	調味料 強化剤	L-Tyrosine	
205	(略)																									
206	ツヤプリシン (抽出物) (ヒバの幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものをいう。)	ヒノキチオール (抽出物)	ヒノキチオール	※		保存料	Thujaplicin (Extract) Hinokitiol (Extract)																アスナロ (ヒバ) (<i>Thujaopsis dolabrata</i> Siebold et Zuccarini) の幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものである。	保存料	Thujaplicin (extract) Hinokitiol (extract)	
206	ツヤプリシン (抽出物) (ヒバの幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものをいう。)	ヒノキチオール (抽出物)	ヒノキチオール			保存料	Thujaplicin (Extract) Hinokitiol (Extract)																アスナロ (ヒバ) (<i>Thujaopsis dolabrata</i> Siebold et Zuccarini) の幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものである。	保存料	Thujaplicin (extract) Hinokitiol (extract)	

207	5'-デアミナーゼ			※		酵素	5'-Deaminase	207	5'-デアミナーゼ			糸状菌 (<i>Aspergillus melleus</i> , <i>Aspergillus oryzae</i>) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	5'-Deaminase
208	(略)							208	(略)					
209	(略)							209	(略)					
210	デキストラナーゼ			※		酵素	Dextranase	210	デキストラナーゼ			糸状菌 (<i>Chaetomium erraticum</i> , <i>Chaetomium gracile</i> , <i>Penicillium lilacinum</i>) の培養液より、冷時～室温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、除菌後、冷時～室温時濃縮したもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Dextranase
211	デキストラン		ブドウ糖多糖	※		増粘安定剤	Dextran	211	デキストラン		ブドウ糖多糖	グラム陽性細菌 (<i>Leuconostoc mesenteroides</i> 又は <i>Streptococcus equinus</i>) の培養液より、分離して得られたものである。成分はデキストランである。	増粘安定剤	Dextran
212	(略)							212	(略)					
213	デュナリエアカロテン (デュナリエア的全藻から得られた、β-カロテンを主成分とするものをいう。)	藻類カロチン 藻類カロチン デュナリエアカロチン ドナリエアカロチン ドナリエアカロチン 抽出カロチン 抽出カロチン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロチン カロチン色素	※		強化剤 着色料	Dunaliella Carotene	213	デュナリエアカロテン (デュナリエア的全藻から得られた、β-カロテンを主成分とするものをいう。)	藻類カロチン 藻類カロチン デュナリエアカロチン ドナリエアカロチン ドナリエアカロチン 抽出カロチン 抽出カロチン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロチン カロチン色素	デュナリエア (<i>Dunaliella bardawil</i> 又は <i>Dunaliella salina</i>) の全藻から得られた、β-カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Dunaliella carotene
214	(略)							214	(略)					
215	トウガラシ色素 (トウガラシの果実から得られた、カプサンチン類を主成分とするものをいう。)	カプシカム色素 パプリカ色素	カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	※		着色料	Paprika Color Paprika Oleoresin	215	トウガラシ色素 (トウガラシの果実から得られた、カプサンチン類を主成分とするものをいう。)	カプシカム色素 パプリカ色素	カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	トウガラシ (<i>Capsicum annuum</i> Linné) の果実から得られた、カプサンチン類を主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Paprika colour Paprika oleoresin
216	(略)							216	(略)					
217	動物性ステロール (魚油又は「ラノリン」から得られた、コレステロールを主成分とするものをいう。)	コレステロール	ステロール	※		乳化剤	Cholesterol	217	動物性ステロール (魚油又は「ラノリン」から得られた、コレステロールを主成分とするものをいう。)	コレステロール	ステロール	魚油の不けん化物又は「ラノリン」より、加水分解したもので、又は有機溶剤で抽出したものより得られたものである。主成分はコレステロールである。	乳化剤	Cholesterol
218	トコトリエノール			※		酸化防止剤	Tocotrienol	218	トコトリエノール			イネ (<i>Oryza sativa</i> Linné) の米ぬか油、アブラヤシ (<i>Elaeis guineensis</i> Jacquin) のパーム油等より分別精製して得られたものである。主成分はトコトリエノールである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤	Tocotrienol
219	d-α-トコフェロール	α-ビタミンE	抽出V.E トコフェロール α-トコフェロール ビタミンE V.E 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	※		酸化防止剤 強化剤	d-α- Tocopherol	219	d-α-トコフェロール	α-ビタミンE 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	抽出V.E トコフェロール α-トコフェロール ビタミンE V.E	油糧種子から得られた植物油又はミックストコフェロール (植物油脂から得られたd-α-トコフェロール、d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及びd-δ-トコフェロールを主成分とするものをいう。) より分離して得られた、d-α-トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	d-α- Tocopherol
220	d-γ-トコフェロール	γ-ビタミンE	抽出V.E トコフェロール γ-トコフェロール ビタミンE	※		酸化防止剤 強化剤	d-γ- Tocopherol	220	d-γ-トコフェロール	γ-ビタミンE 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	抽出V.E トコフェロール γ-トコフェロール ビタミンE	油糧種子から得られた植物油又はミックストコフェロール (植物油脂から得られたd-α-トコフェロール、d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及びd-δ-トコフェロールを主成分とするものをいう。) より分離して得られた、d-γ-トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	d-γ- Tocopherol

			V.E 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE					V.E	分とするものである。食用油脂を含むことがある。					
221	d-δ-トコフェロール	δ-ビタミンE	抽出V.E トコフェロール δ-トコフェロール ビタミンE V.E 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	※	酸化防止剤 強化剤	d-δ- Tocopherol		抽出V.E トコフェロール δ-トコフェロール ビタミンE V.E	油種子から得られた植物油脂又はミックストコフェロール(植物油脂から得られたd-α-トコフェロール、d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及びd-δ-トコフェロールを主成分とするものをいう。)より分離して得られた、d-δ-トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	d-δ- Tocopherol			
222	トマト色素 (トマトの果実から得られた、リコピンを主成分とするものをいう。)	トマトリコピン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド カロチノイド色素 野菜色素	※	着色料	Tomato Color (削除)		222	トマト色素 (トマトの果実から得られた、リコピンを主成分とするものをいう。)	トマトリコピン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド カロチノイド色素 野菜色素	トマト(Lycopersicon esculentum Miller)の果実から得られた、リコピンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Tomato colour Tomato lycopene
223	トラガントガム (トラガントの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		トラガント	※	増粘安定剤	Tragacanth Gum		223	トラガントガム (トラガントの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		トラガント	トラガント(Astragalus gummifer Labillardiere)の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Tragacanth gum
224	トランスグルコシダーゼ			※	酵素	Transglucosidase		224	トランスグルコシダーゼ			糸状菌(Aspergillus niger, Aspergillus usamii)、細菌(Sulfolobus solfataricus)の培養液より、冷時～室温時除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Transglucosidase
225	トランスグルタミナーゼ			※	酵素	Transglutaminase		225	トランスグルタミナーゼ			動物の肝臓より、又は放線菌(Streptomyces, Streptovorticillium mobaraense)若しくは細菌(Bacillus)の培養液より、室温時水で抽出後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Transglutaminase
226	トリプシン			※	酵素	Trypsin		226	トリプシン			動物の臓器又は魚類若しくは甲殻類の臓器から得られた、たんぱく質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Trypsin
227	(略)							227	(略)					
228	トレハロースホスホリラーゼ			※	酵素	Trehalose Phosphorylase		228	トレハロースホスホリラーゼ			細菌(Plesiomonas)の培養液の菌体を酵素(リゾチーム)処理した後、冷時～室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Trehalose phosphorylase
229	(略)							229	(略)					
230	納豆菌ガム (納豆菌の培養液から得られた、ポリグルタミン酸を主成分とするものをいう。)	納豆菌粘質物	ポリグルタミン酸	※	増粘安定剤 製造用剤	Bacillus Natto Gum		230	納豆菌ガム (納豆菌の培養液から得られた、ポリグルタミン酸を主成分とするものをいう。)	納豆菌粘質物	ポリグルタミン酸	納豆菌(Bacillus subtilis)の培養液から得られた、ポリグルタミン酸を主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Bacillus natto. gum
231	(略)							231	(略)					
232	(略)							232	(略)					
233	ナリンギナーゼ	ナリンギナーゼ		※	酵素	Naringinase		233	ナリンギナーゼ	ナリンギナーゼ		糸状菌(Aspergillus usamii, Penicillium decumbens)の培養液より、冷時～室温時水で抽出し、冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Naringinase
234	ナリンジン	ナリンギン		※	苦味料等	Naringin		234	ナリンジン	ナリンギン		グレープフルーツ(Citrus X paradisi Macfadyen)の果皮、果汁又は種子より、水又はエタノール若しくはメタノールで抽出し、分離して得られたものである。成分はナリンジンである。	苦味料等	Naringin

235	(略)								235	(略)						
236	(略)								236	(略)						
237	(略)								237	(略)						
238	ニンジンカロテン (ニンジンの根から得られた、カロテンを主成分とするものをいう。)	キャロットカロチン キャロットカロテン ニンジンカロチン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロテン カロテン色素	※	強化剤 着色料	Carrot Carotene			238	ニンジンカロテン (ニンジンの根から得られた、カロテンを主成分とするものをいう。)	キャロットカロチン キャロットカロチン ニンジンカロチン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロテン カロテン色素	ニンジン (<i>Daucus carota</i> Linne) の根から得られた、カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Carrot carotene	
239	(略)								239	(略)						
240	(略)								240	(略)						
241	バーオキシダーゼ	ペルオキシダーゼ		※	酵素	Peroxidase			241	バーオキシダーゼ	ペルオキシダーゼ		アブラナ科セイヨウワサビ (Amoracia rusticana) 、 アブラナ科ダイコン (Raphanus acanthiformis) 若しくはキュウリ科キュウリ (<i>Cucumis sativus</i>) より搾汁したもの、又は糸状菌 (<i>Alternaria</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Coprinus cinereus</i> , <i>Oidiodendron</i>) 若しくは細菌 (<i>Bacillus</i>) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、若しくは冷時～室温時濃縮後、エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Peroxidase	
242	(略)								242	(略)						
243	パパイン			※	酵素	Papain			243	パパイン			パパイヤ (<i>Carica papaya</i> Linne) の果実より得られた、たんぱく質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Papain	
244	パーム油カロテン (アブラヤシの果実から得られた、カロテンを主成分とするものをいう。)	パーム油カロチン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロテン カロテン色素	※	強化剤 着色料	Palm Oil Carotene			244	パーム油カロテン (アブラヤシの果実から得られた、カロテンを主成分とするものをいう。)	パーム油カロチン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロテン カロテン色素	アブラヤシ (<i>Elaeis guineensis</i> Jacquin) の果実から得られた、カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Palm oil carotene	
245	パーライト		不溶性鉱物性物質	※	製造用剤	Perlite			245	パーライト		不溶性鉱物性物質	鉱物性二酸化ケイ素を800～1,200℃で焼成したものである。	製造用剤	Perlite	
246	(略)								246	(略)						
247	パラフィンワックス	パラフィン		※	ガムベース 光沢剤	Paraffin Wax			247	パラフィンワックス	パラフィン		石油の常圧及び減圧蒸留抽出油から得た固形の炭化水素の混合物で、主として直鎖状の飽和炭化水素からなる。	ガムベース 光沢剤	Paraffin wax	
248	バンクレアチン			※	酵素	Pancreatin			248	バンクレアチン			動物のすい臓より、室温時水で抽出し、冷時～室温時アセトンで処理して得られたものである。	酵素	Pancreatin	
249	(略)								249	(略)						
250	微結晶セルロース (バルブから得られた、結晶セルロースを主成分とするものをいう。)	結晶セルロース	セルロース	※	製造用剤	Microcrystalline Cellulose			250	微結晶セルロース (バルブから得られた、結晶セルロースを主成分とするものをいう。)	結晶セルロース	セルロース	バルブから得られた、結晶セルロースを主成分とするものである。乾燥物及び含水物がある。	製造用剤	Microcrystalline cellulose	
251	微小繊維状セルロース (バルブ又は綿を微小繊維状にして得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)		セルロース	※	増粘安定剤 製造用剤	Microfibrillated Cellulose			251	微小繊維状セルロース (バルブ又は綿を微小繊維状にして得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)		セルロース	バルブ又は綿を微小繊維状にして得られた、セルロースを主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Microfibrillated cellulose	
252	L-ヒスチジン		ヒスチジン	※	調味料 強化剤	L-Histidine			252	L-ヒスチジン		ヒスチジン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られる。	調味料 強化剤	L-Histidine	

253	ビートレッド (ビートの根から得られた、イソペタニン及びペタニンを主成分とするものをいう。)	アカビート色素	アカビート 野菜色素	※	着色料	Beet Red	たものである。成分はβ-ヒスチジンである。	着色料	Beet red
254	L-ヒドロキシプロリン	L-オキシプロリン	オキシプロリン ヒドロキシプロリン	※	調味料 強化剤	L- Hydroxyproline	ゼラチン等を、加水分解し、分離して得られたものである。主成分はL-ヒドロキシプロリンである。	調味料 強化剤	L- Hydroxyproline
255	(略)								
256	(略)								
257	(略)								
258	(略)								
259	フィシン	ファイシン		※	酵素	Ficin	クワ科イチジク (<i>Ficus carica</i> LINNE) 又はクワ科ヒゴ (<i>Ficus glabrata</i> H.B. et K.) の樹液を、乾燥したもの、又はこれより、冷時~室温時水で抽出して得られたものである。成分はフィシンである。	酵素	Ficin
260	フィターゼ		ホスホヒドロラーゼ	※	酵素	Phytase	糸状菌 (<i>Aspergillus niger</i>) の培養液より水で抽出し、濃縮して得られたものである。	酵素	Phytase
261	フィチン酸 (米ぬか又はトウモロコシの種子から得られた、イノシトールヘキサリン酸を主成分とするものをいう。)			※	酸味料 製造用剤	Phytic Acid	イネ科イネ (<i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られた米ぬか又はイネ科トウモロコシ (<i>Zea mays</i> LINNE) の種子より、室温時水又は酸性水溶液で抽出し、精製して得られたものである。主成分はイノシトールヘキサリン酸である。	酸味料 製造用剤	Phytic acid
262	(略)								
263	(略)								
264	フェルラ酸			※	酸化防止剤	Ferulic Acid	イネ科イネ (<i>Oryza sativa</i> LINNE) の糠より得られた米糠油を、室温時弱アルカリ性下で含水エタノール及びヘキササンで分配した後、含水エタノール画分に得られたγ-オリザノールを、加圧下熱時硫酸で加水分解し、精製して得られたもの、又は細菌 (<i>Pseudomonas</i>) を、フトモモ科チョウジノキ (<i>Syzygium aromaticum</i> MERRILL et PERRY) のつぼみ及び葉より水蒸気蒸留で得られた丁子油、又は丁子油から精製して得られたオイゲノールを含む培養液で培養し、その培養液を、分離、精製して得られたものである。成分はフェルラ酸である。	酸化防止剤	Ferulic acid
265	フクロノリ抽出物 (フクロノリの全薬から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	(削除)	フクロノリ多糖類 フクロノリ多糖類 フクロノリ抽出物	※	増粘安定剤	Fukuronori Extract	フクロノリ (<i>Gloiopeltis furcata</i> J. Agardh) の全薬から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Fukuronori extract
266	(略)								
267	ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。)	エノシアン	アントシアニン アントシアニン色素 ブドウ色素	※	着色料	Grape Skin Color Grape Skin Extract	アメリカブドウ (<i>Vitis labrusca</i> Linné) 又はブドウ (<i>Vitis vinifera</i> Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Grape skin colour Grape skin extract
268	(略)								
269	ブドウ種子抽出物 (アメリカブドウ又はブドウの種子		プロアントシアニジン	※	酸化防止剤 製造用剤	Grape Seed Extract	ブドウ科アメリカブドウ (<i>Vitis labrusca</i> LINNE) 又はブドウ科ブドウ (<i>Vitis vinifera</i> LINNE) の種子より、熱時水、温時エタノール若しくは室温時アセト	酸化防止剤 製造用剤	Grape seed extract

	から得られた、プロアントシアニジン(主成分とするものをいう。)								ンで抽出したもので得られたもの、又はこの抽出物を、酵母を用いて発酵処理したもので得られたもの、若しくはタンナーゼにより加水分解処理したもので得られたものである。主成分はプロアントシアニジンである。		
270	(略)										
271	フルクトシルトランスフェラーゼ		※		酵素	Fructosyl Transferase			糸状菌 (<i>Aspergillus</i> , <i>Penicillium roqueforti</i>) 又は細菌 (<i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus</i>) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は除菌後、冷時～室温時濃縮して得られたものである。	酵素	Fructosyl transferase
272	プルラナーゼ		※	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	酵素	Pullulanase		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	細菌 (<i>Bacillus</i> , <i>Klebsiella</i> , <i>Sulfolobus solfataricus</i>) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもので、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Pullulanase
273	プルラン		※		増粘安定剤 製造用剤	Pullulan			糸状菌 (<i>Aureobasidium pullulans</i>) の培養液より、分離して得られた多糖類である。成分はプルランである。	増粘安定剤 製造用剤	Pullulan
274	プロテアーゼ	たん白分解酵素	※		酵素	Protease		たん白分解酵素	動物、魚類若しくは甲殻類の筋肉若しくは臓器より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 (<i>Aspergillus melleus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus saitoi</i> , <i>Aspergillus sojae</i> , <i>Monascus pilosus</i> , <i>Monascus purpureus</i> , <i>Mucor circinelloides</i> , <i>Mucor javanicus</i> , <i>Mucor miehei</i> , <i>Mucor rouxii</i> , <i>Penicillium citrinum</i> , <i>Penicillium duponti</i> , <i>Rhizomucor miehei</i> , <i>Rhizopus chinensis</i> , <i>Rhizopus delemar</i> , <i>Rhizopus niveus</i> , <i>Rhizopus oryzae</i>)、担子菌(<i>Pycnoporus coccineus</i>)、放線菌 (<i>Streptomyces</i>)、細菌(<i>Bacillus amyloliquefaciens</i> , <i>Bacillus coagulans</i> J4, <i>Bacillus lentus</i> , <i>Bacillus licheniformis</i> , <i>Bacillus polymixa</i> , <i>Bacillus stearothermophilus</i> , <i>Bacillus subtilis</i> , <i>Bacillus thermoproteolyticus</i> , <i>Pseudomonas paucimobilis</i>)若しくは酵母(<i>Saccharomyces</i>)の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時～室温時樹脂精製して得られたもの、若しくはこれより、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの若しくは硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Protease
275	(略)										
276	(略)										
277	ブロメライン	(削除)	※	ブロメリン	酵素	Bromelain		ブロメリン	パイナップル (<i>Ananas comosus</i> Merrill) の果実又は根茎より得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Bromelain
278	L-プロリン		※	プロリン	調味料 強化剤	L-Proline		プロリン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-プロリンである。	調味料 強化剤	L-Proline
279	(略)										
280	粉末セルロース (バルブを分解して得られた、セル		※	セルロース	製造用剤	Powdered Cellulose		セルロース	バルブを分解して得られた、セルロースを主成分とするものである。	製造用剤	Powdered cellulose

										サンゴカルシウム サンゴCa						
	真珠層未焼成カルシウム		真珠層カルシウム 真珠層Ca	ウグイスガイ科アコヤガイ (Pinctada fucata) から得られる真珠の核を除いた真珠層を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。		酸化防止剤 強化剤	Non-calcinated mother-of- pearl layer calcium			真珠層カルシウム 真珠層Ca	ウグイスガイ科アコヤガイ (Pinctada fucata) から得られる真珠の核を除いた真珠層を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。					Non-calcinated mother-of- pearl layer calcium
	卵殻未焼成カルシウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	卵殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。			Non-calcinated eggshell calcium			卵殻カルシウム 卵殻Ca	卵殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。					Non-calcinated eggshell calcium
319	ミックストコフェロール (植物性油脂から得られた、d- α -トコフェロール、d- β -トコフェロール、d- γ -トコフェロール及び d- δ -トコフェロールを主成分とするものをいう。)	ミックスビタミンE	抽出V.E トコフェロール ビタミンE V.E ミックスV.E <u>抽出トコフェロール</u> <u>抽出ビタミンE</u>	※			Mixed <u>Tocopherols</u>		319	ミックストコフェロール (植物性油脂から得られた、d- α -トコフェロール、d- β -トコフェロール、d- γ -トコフェロール及び d- δ -トコフェロールを主成分とするものをいう。)	ミックスビタミンE <u>抽出トコフェロール</u> <u>抽出ビタミンE</u>	抽出V.E トコフェロール ビタミンE V.E ミックスV.E	<u>植物性油脂から得られた、d-α-トコフェロール、d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及び d-δ-トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。</u>		酸化防止剤 強化剤	Mixed <u>tocopherols</u>
320	ミツロウ (ミチバチの巣から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	オウロウ beesワックス beesワックス		※		ガムベース 光沢剤	<u>Bees Wax</u>		320	ミツロウ (ミチバチの巣から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)			<u>ミツバチ (Apis spp.) の巣から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものである。</u>		ガムベース 光沢剤	<u>Bees wax</u>
321	(略)								321	(略)						
322	ムラサキイモ色素 (サツマイモの塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシド及びベオニジンアシルグルコシドを主成分とするものをいう。)		アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	※		着色料	<u>Purple Sweet Potato Color</u>		322	ムラサキイモ色素 (サツマイモの塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシド及びベオニジンアシルグルコシドを主成分とするものをいう。)	アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	<u>サツマイモ (Ipomoea batatas Poir.) の塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシド及びベオニジンアシルグルコシドを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。</u>		着色料	<u>Purple sweet potato colour</u>	
323	ムラサキトウモロコシ色素 (トウモロコシの種子から得られた、シアニジン-3-グルコシドを主成分とするものをいう。)	ムラサキコーン色素	アントシアニン アントシアニン色素	※		着色料	<u>Purple Corn Color</u>		323	ムラサキトウモロコシ色素 (トウモロコシの種子から得られた、シアニジン-3-グルコシドを主成分とするものをいう。)	ムラサキコーン色素	アントシアニン アントシアニン色素	<u>トウモロコシ (Zea mays Linne) の種子から得られた、シアニジン-3-グルコシドを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。</u>		着色料	<u>Purple corn colour</u>
324	(略)								324	(略)						
325	ムラミダーゼ			※		酵素	Muramidase		325	ムラミダーゼ			<u>放線菌 (Actinomycetes, Streptomycetes) 又は細菌 (Bacillus) の培養液より、冷時~室温時除菌後、冷時~室温時濃縮し、冷時含水エタノールで抽出して得られたものである。</u>	酵素	Muramidase	
326	メナキノ (抽出物) (アルトロバクターの培養液から得られた、メナキノ-四を主成分とするものをいう。)	ビタミンK2 (抽出物)	ビタミンK2 ビタミンK V.K2 V.K メナキノ	※		強化剤	<u>Menaquinone (Extract)</u> <u>Vitamin K2 (Extract)</u>		326	メナキノ (抽出物) (アルトロバクターの培養液から得られた、メナキノ-四を主成分とするものをいう。)	ビタミンK2 (抽出物)	ビタミンK2 ビタミンK V.K2 V.K メナキノ	<u>アルトロバクター属菌 (Arthrobacter nicotianae) の培養液から得られた、メナキノ-4を主成分とするものである。</u>	強化剤	<u>Menaquinone (extract)</u> <u>Vitamin K2 (extract)</u>	
327	(略)								327	(略)						

328	(略)							328	(略)					
329	(略)							329	(略)					
330	(略)							330	(略)					
331	(略)							331	(略)					
332	(略)							332	(略)					
333	(略)							333	(略)					
334	(略)							334	(略)					
335	(略)							335	(略)					
336	(略)							336	(略)					
337	ヤマモモ抽出物 (ヤマモモの果実、樹皮又は葉から抽出して得られたものをいう。)			※	酸化防止剤	Chinese Bayberry Extract		337	ヤマモモ抽出物 (ヤマモモの果実、樹皮又は葉から抽出して得られたものをいう。)			ヤマモモ (Myrica rubra Siebold et Zuccarini) の果実、樹皮又は葉から抽出して得られたものである。主成分はミリシトリンである。	酸化防止剤	Chinese bayberry extract
338	ユッカフォーム抽出物 (ユッカアラボレセンス又はユッカシジゲラの全草から得られた、サポニンを主成分とするものをいう。)	ユッカ抽出物	ユッカフォーム ユッカ・フォーム	※	乳化剤 製造用剤	Yucca Foam Extract (削除)		338	ユッカフォーム抽出物 (ユッカアラボレセンス又はユッカシジゲラの全草から得られた、サポニンを主成分とするものをいう。)	ユッカ抽出物 ユッカフォーム ユッカ・フォーム		ユッカ・ブレビフォリア (Yucca brevifolia Engelmann) 又はユッカ・シジゲラ (Yucca schidigera Roez1 ex Ortgies) の全草から得られた、サポニンを主成分とするものである。	乳化剤 製造用剤	Yucca foam extract Yucca joshua tree
339	ラカンカ抽出物 (ラカンカの果実から得られた、モグロシド類を主成分とするものをいう。)	ラカンカエキス	ラカンカ	※	甘味料	Luohanguo Extract		339	ラカンカ抽出物 (ラカンカの果実から得られた、モグロシド類を主成分とするものをいう。)	ラカンカエキス ラカンカ		ラカンカ (Siraitia grosvenorii C. Jeffrey ex A. M. Lu & Zhi Y. Zhang (Momordica grosvenori Swingle)) の果実から得られた、モグロシド類を主成分とするものである。	甘味料	Rakanka extract
340	ラクトパーオキシダーゼ			※	酵素	Lactoperoxidase		340	ラクトパーオキシダーゼ			脱脂生乳又は乳清より、イオン交換樹脂で分離して得られたものである。	酵素	Lactoperoxidase
341	ラクトフェリン濃縮物 (ほ乳類の乳から得られた、ラクトフェリンを主成分とするものをいう。)		ラクトフェリン	※	製造用剤	Lactoferrin Concentrates		341	ラクトフェリン濃縮物 (ほ乳類の乳から得られた、ラクトフェリンを主成分とするものをいう。)		ラクトフェリン	ほ乳類の乳を脱脂分離したもの又は乳清より、精製し、濃縮して得られたものである。主成分は、ラクトフェリンである。	製造用剤	Lactoferrin concentrates
342	ラック色素 (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、ラッカイン酸類を主成分とするものをいう。)	ラッカイン酸	ラック	※	着色料	Lac Color		342	ラック色素 (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、ラッカイン酸類を主成分とするものをいう。)	ラッカイン酸 ラック		ラックカイガラムシ (Laccifer spp.) の分泌液から得られた、ラッカイン酸類を主成分とするものである。	着色料	Lac colour
343	ラノリン (ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高級アルコールと α -ヒドロキシ酸のエステルを主成分とするものをいう。)	羊毛ロウ		※	ガムベース 光沢剤	Lanolin		343	ラノリン (ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高級アルコールと α -ヒドロキシ酸のエステルを主成分とするものをいう。)	羊毛ロウ		ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高級アルコールとα-ヒドロキシ酸のエステルを主成分とするものである。	ガムベース 光沢剤	Lanolin
344	ラムザンガム (アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主	ラムザン多糖類	ラムザン	※	増粘安定剤	Rhamsan Gum		344	ラムザンガム (アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主	ラムザン多糖類 ラムザン		スフィンゴモナス属 (Sphingomonas sp.) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。シロ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Rhamsan gum

	成分とするものをいう。)																
345	L-ラムノース		ラムノース	※	甘味料	L-Rhamnose				345	L-ラムノース		ラムノース	「ルチン (抽出物)」又はミカン科アマダイダイ (Citrus sinensis OSBECK) 若しくはミカン科ウンシユウミカン (Citrus unshiu MARCOW.) の果皮、樹皮若しくは花に含まれる配糖体、又は大豆油、菜種油若しくはコーン油を発酵、濃縮分離して得られたものを、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-ラムノースである。	甘味料	L-Rhamnose	
346	(略)									346	(略)						
347	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	※	調味料 強化剤	L-Lysine				347	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-リシンである。	調味料 強化剤	L-Lysine	
348	リゾチーム	卵白リゾチーム		※	酵素	Lysozyme				348	リゾチーム	卵白リゾチーム		卵白より、アルカリ性水溶液及び食塩水で処理し、樹脂精製して得られたもの、又は樹脂処理若しくは加塩処理した後、カラム精製若しくは再結晶により得られたもので、細菌の細胞壁物質を溶解する酵素である。	酵素	Lysozyme	
349	リパーゼ	脂肪分解酵素	エステラーゼ	※	酵素	Lipase				349	リパーゼ	脂肪分解酵素	エステラーゼ	動物若しくは魚類の臓器、又は動物の舌下部より、冷時〜微温時水で抽出して得られたもの又は糸状菌 (Aspergillus awamori, Aspergillus niger, Aspergillus oryzae, Aspergillus phoenicis, Aspergillus usamii, Geotrichum candidum, Humicola, Mucor javanicus, Mucor miehei, Penicillium camembertii, Penicillium chrysogenum, Penicillium roquefortii, Rhizomucor miehei, Rhizopus delemar, Rhizopus japonicus, Rhizopus miehei, Rhizopus niveus, Rhizopus oryzae)、放線菌 (Streptomyces)、細菌 (Alcaligenes, Arthrobacter, Chromobacterium viscosum, Pseudomonas, Serratia marcescens) 又は酵母 (Candida) の培養液より、冷時〜微温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時〜室温時濃縮したもの、又はエタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたものである。	酵素	Lipase	
350	リポキシゲナーゼ	リポキシダーゼ		※	酵素	Lipoxygenase				350	リポキシゲナーゼ	リポキシダーゼ		植物油粕より、又は糸状菌 (Rhizopus) の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Lipoxygenase	
351	D-リボース		リボース	※	甘味料	D-Ribose				351	D-リボース		リボース	グラム陽性細菌 (Bacillus pumilus 又は Bacillus subtilis) によるD-グルコースの発酵培養液より、分離して得られたものである。成分はD-リボースである。	甘味料	D-Ribose	
352	流動パラフィン	ミネラルオイルホワイト	パラフィン	※	製造用剤	Liquid Paraffin				352	流動パラフィン	ミネラルオイルホワイト	パラフィン	石油から得た炭化水素類の混合物である。	製造用剤	Liquid paraffin	
353	(略)									353	(略)						
354	ルチン酵素分解物 (「ルチン (抽出物)」から得られた、イソクエルシトリンを主成分とするものをいう。)		イソクエルシトリン	※	酸化防止剤	Enzymatically Decomposed Rutin				354	ルチン酵素分解物 (「ルチン (抽出物)」から得られた、イソクエルシトリンを主成分とするものをいう。)		イソクエルシトリン	ルチン (抽出物) (アズキ (Vigna angularis Ohwi et H. Ohashi) の全草、エンジュ (Sophora japonica Linné) のつぼみ若しくは花又はソバ (Fagopyrum esculentum Moench) の全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。) を酵素処理した後、精製して得られたものである。主成分はイソクエルシトリンである。	酸化防止剤	Enzymatically decomposed rutin	
355	ルチン (抽出物) (アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主		フラボノイド ルチン		酸化防止剤 着色料	Rutin (extract)				355	ルチン (抽出物) (アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主		フラボノイド ルチン		酸化防止剤 着色料	Rutin (extract)	

	成分とするものをいう。)					
	エンジュ抽出物		※		Enju Extract Japanese Pagoda Tree Extract	
	アズキ全草抽出物		マメ科アズキ (<i>Azukia angularis</i> OHWI) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。		Azuki extract	
	ソバ全草抽出物		タデ科ソバ (<i>Fagopyrum esculentum</i> MOENCH) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。		Buckwheat extract	
356	(略)					
357	(略)					
358	(略)					
359	(略)					
360	レンネット	キモシン レンニン	※	酵素	Rennet	
361	L-ロイシン		※	調味料 強化剤	L-Leucine	
362	(略)					
363	(略)					
364	(略)					
365	(略)					

※食品、添加物等の規格基準 (昭和34年厚生省告示第370号) 第2 添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

なお、組換えDNA技術によって得られた生物を利用して製造された添加物の場合は、厚生労働大臣が定める安全性審査の手続を経た旨が公表されていない。

別添 添加物2-2・別添 添加物2-3 (略)

別添 栄養成分等の分析方法等～別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for Human Consumption in Accordance with Regulation 48 of the Animal Products (略)

	成分とするものをいう。)					
	エンジュ抽出物		ルチン (抽出物) のうちエンジュ (<i>Sophora japonica</i> Linné) のつぼみ又は花より、水、エタノール又はメタノールで抽出し、溶媒を除去して得られたものである。主成分はルチンである。			Enju extract Japanese pagoda tree extract
	アズキ全草抽出物		マメ科アズキ (<i>Azukia angularis</i> OHWI) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。			Azuki extract
	ソバ全草抽出物		タデ科ソバ (<i>Fagopyrum esculentum</i> MOENCH) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。			Buckwheat extract
356	(略)					
357	(略)					
358	(略)					
359	(略)					
360	レンネット	キモシン レンニン	反すう動物の第四胃より、室温時～微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、又は酵母菌 (<i>Kluyveromyces lactis</i>)、糸状菌 (<i>Mucor miehei</i> , <i>Mucor pusillus</i> LINDT, <i>Mucor</i> spp., <i>Rhizomucor miehei</i>)、担子菌 (<i>Irpex lacteus</i>) 若しくは細菌 (<i>Bacillus cereus</i> , <i>Cryphonectria parasitica</i> , <i>Escherichia coli</i> K-12等) の培養液より、室温時～微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、室温時濃縮したもの、又は、冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Rennet	
361	L-ロイシン		動物性若しくは植物性タンパク質の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵法により得られたものより、分離して得られたものである。成分はL-ロイシンである。	調味料 強化剤	L-Leucine	
362	(略)					
363	(略)					
364	(略)					
365	(略)					

別添 添加物2-2・別添 添加物2-3 (略)

別添 栄養成分等の分析方法等～別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for Human Consumption in Accordance with Regulation 48 of the Animal Products (略)